

公の施設の指定管理者における業務状況評価

平成 23 年 1 月 31 日

施設名	高知県立埋蔵文化財センター	所管課	文化財課
------------	----------------------	------------	-------------

1 施設の概要

指定管理者	(財) 高知県文化財団	指定期間	平成 21 年 4 月 1 日～ 平成 22 年 3 月 31 日
施設所在地	南国市篠原 1 4 3 7 - 1		
事業内容	1) 施設管理 高知県立埋蔵文化財センターの施設管理 2) 出土文化財等資料管理 出土文化財、図書等の資料管理 3) 広報普及事業 ア 出前考古学教室 イ 公開考古学講座 ウ 展示公開事業 (企画展 I・II、巡回展、特別展) エ 研修事業 オ 講師派遣・市町村発掘調査指導等		
施設内容	敷地面積 4,687.58 m ² 施設 本館・北館・南館・収蔵庫 (建築面積 2,083.18 m ²) 利用時間 8:30～17:00 休館日 土・日・祝祭日・年末・年始		
職員体制	常勤職員 6 名		

2 収支の状況

(単位:円)

		21年度 (予算)	21年度 (決算)
収 入	県支出金	68,883,000	58,048,206
	使用料・手数料	0	0
	その他	0	331,254
	収入計	68,883,000	58,379,460
支 出	管理運営費	20,522,000	17,851,076
	人件費	48,361,000	40,528,384
	その他	0	0
	支出計	68,883,000	58,379,460

3 利用状況

	21年度（目標）	21年度（実績）	
①年間利用者数（単位：人）	2,800	2,866	
	<p>・入館者は、展示及び公開講座の参加者、発掘調査業務等の見学者、出土遺物等調査のための来館者であり、21年度の入館者数は前年度入館者を基に設定した目標数を僅かに上回った。</p>		
②利用者意見等の反映	<p>・要望が多かった夏休み期間中に行う、親子考古学教室の回数を大幅に増やす（204→2122回）など、利用者意見を反映した対応がされている。</p> <p>・定期的に行う公開講座や体験教室、発掘現場見学会の回数も参加者の意見を反映し、19年度からメニューを増やしてきた結果、参加者が年々増加するとともに、地域に所在する遺跡についての関心も高まっている。</p>		
③その他特記事項	<p>・出前考古学教室は、県民参加による学校と地域との連携を深めるためボランティアをつのり11名に参加してもらった。</p>		

4 平成21年度業務評価

項目	状況説明
①適正な管理運営の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の清掃・警備等は、入札による経費節減に努め適切な管理がなされている。 ・設備・機器についても日常の管理点検をおこたらず、故障等についても協定にそって迅速に対応している。 ・危機管理体制も災害対策処理要綱や消防計画を定め緊急時の配備体制等を確立し、これに沿った対応がなされている。
②利用者サービスの維持向上	<ul style="list-style-type: none"> ・巡回展「発掘へんろ」や「企画展2」の開催期間中は土・日曜日開館を行い利用者の利便を図っている。 ・体験型の講座を多く取り入れ、新たな参加者の増加に努めている。 ・地域における身近な歴史への関心を高めるため、展示の工夫を行い新しい入館者の増加につなげている。
③利用実績	<p>1) 展示</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4回の展示会を行い、解りやすい展示など工夫されており全体的に見学者が増加している。 <p>2) 講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・県民ニーズの高い講座を増やし、全体の講座のあり方を工夫して9講座を実施し参加者が昨年より増加している。

④収支の状況	<ul style="list-style-type: none"> ・ 68,883,000 円の予算に対して、58,379,460 円の決算。 ・ 収入は、県からの委託料のみであり、経費の節減に努めつつ適正な支出が行われている。
総合評価	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin-left: 20px; margin-bottom: 10px;">A</div> <p>1) 管理運営について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 清掃や警備、施設設備の保守点検、不測の事態に備えた危機管理体制の整備など、仕様書に沿って公の施設として適切な維持管理が行われている。 <p>2) 事業の実施（企画運営）について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 来館者のニーズを把握し、展示や講座も工夫して実施されており、来館者も少しずつ増加しており、今後も地道な努力を続けていくことが望まれる。

- 【評価の目安】** A：仕様書の内容や目標を上回る成果があり、優れた管理運営が行われたもの
 B：おおむね仕様書の内容どおりの成果があり、適正な管理が行われたもの
 C：仕様書の内容や目標を下回る項目があり、さらなる工夫・努力が必要なもの
 D：管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善を要するもの